

## **マッチングによるビジネスモデル！サイト制作など具体的な手順も併せて紹介！**

### **マッチングによるビジネスモデルとは？どのような収益構造？**

マッチングによるビジネスモデルは、基本的に仕事を依頼する側（発注者）は無料、仕事を受ける側（受注者）が有料となります。ビジネスモデルは、大きく分けて3つの収益構造に分けられます。

1つ目は、掲載課金型です。マッチングの成立・不成立に関係なく、サービスを掲載するときに掲載料を受け取ることが可能なため、マッチングサイトの運営者は、安定して利益が得られます。

2つ目は、成果報酬型です。受注者は、契約が成立した時点で、契約金額の5～20%程度を手数料として請求されます。マッチング数が多ければ多いほど、利益を得られる仕組みです。

3つ目は、反響課金型です。契約まで至らなくても、問い合わせが来ているなど何かしらの反響があった場合、受注者は、手数料として請求が来ます。

その他にも、マッチングサイト内に広告を載せて広告収入を得たり、オプションを設けてサービス報酬を得たりと、様々なビジネスモデルがあります。

### **マッチングビジネスはどのような業種で可能？成功事例は？**

マッチングサイトは需要と供給で成り立っているため、その関係性が成り立つ場合、どの業種でもビジネスを行うことは可能です。IT系では、システム開発の会社に特化した「発注ナビ」や、ホームページ制作会社に特化した「Web 幹事」「ホームページ制作.jp」「リカイゼン」が有名です。土業系では、弁護士ドットコムが運営する税理士に特化した「税理士ドットコム」が、高い実績を誇っています。建築系では、元請会社・協力会社・職人に特化した「ツクリンク」、内装業者に特化した「内装建築ドットコム」があります。これらをジャンルごとに分けて、オールジャンルとして取り扱っている「比較ビズ」や「アイミツ」のようなビジネスマッチングサイトも存在しています。

また、フリマアプリの「メルカリ」や住宅探しに特化した「ライフフルホームズ」、婚活に特化した「Pairs」などは、日常的に誰でも気軽に使えるマッチングサイトとして多くの人に利用されています。

### **マッチングによるビジネス。そのメリット・デメリットは？**

マッチングによるビジネスで最も大きいメリットは、初期コストを抑えて始められることです。サイトやアプリの構築ができ、利用者が集まれば、ビジネスとしてすぐに成り立つようになります。デメリットは、利用者がいなければ収益化につながらないことです。

マッチングビジネスを成功させるためには、デメリット部分をいかに少なくするかが鍵となります。例えば、ジャンルの見極めです。利用者を増やすためには、マッチングのニーズがあるジャンルを選ぶ必要があります。また、他社との差別化をねらうことも大切です。多くのジャンルではすでに競合サイト、競合サービスが存在します。使い勝手の良さや他にない機能などがあると、利用者獲得につながります。マッチングによるビジネス利用者がいなければ成り立たないビジネスなので、どのように利用者を集めるか、集客方法を検討することも必要になってきます。

### **各社はどのように課金をさせている？具体的な課金方法を紹介！**

先に挙げたマッチングサイトでは、どのようにして収益をあげているのか、受注者の課金システムをまとめました。

会社名	収益構造（価格はすべて税込）
比較ビズ	掲載課金型（月額 15,180 円）
発注ナビ	掲載課金型（システム開発会社は月額 10 万円、ホームページ制作会社は月額 5 万円） 反響課金型（1 件あたりシステム・アプリは月額 9 万円、ホームページ制作は月額 2 万円）
税理士ドットコム	成果報酬型（継続案件は 1 回払いで年間報酬額の 72%、12 回払いで 76.88%となり、非継続案件は、一律で報酬総額の 30%）
ツクリンク	サブスク型（機能制限ありの場合は無料で利用可能、有料プラン加入で機能開放。月額 1 万円、3 万円、10 万円の 3 つのプランがある）
ライフホームズ	掲載課金型（掲載する物件数に応じて料金が変わる） 反響課金型（メールや電話などの問い合わせがあった場合に課金される）
メルカリ	成果報酬型（出品した商品が購入され、取引が完了したら 10%の手数料がかかる）

## サイト・アプリ製作には複雑な機能が必要?!プロに相談するのがおすすめ！

マッチングサイト・アプリは、多くの場合、システム開発会社に依頼して製作します。機能は増やせば増やすほど、作業工数が増えるため、構築費用も高くなってしまいます。そのため、自分が考えたマッチングサービスをビジネスとして成立させるために、本当に必要な機能はどのようなものなのかを見極めることが必要です。複数のシステム開発会社に相談・見積もりをし、理想のサイト・アプリを作ることをおすすめします。

## まとめ

マッチングサイトには様々なビジネスモデルがあり、業種やサービス展開によって、適したビジネスモデルは違います。また、利用者を獲得しなければ、ビジネスとして成り立たず、収益も見込めません。それぞれのマッチングサイトの特徴や料金体系を参考に、より多くの利用者を獲得するためのサイト構築、ビジネスモデルを考えていきましょう。